

KITAGIN NEWS RELEASE 2015

平成27年2月10日

各位

岩手県盛岡市中央通一丁目6番7号

株式会社 北日本銀行

経営企画部

「きたぎん六次産業化支援ファンド」の第1号案件への出資決定について

～ファンド設立から全国最速での出資案件～

株式会社北日本銀行（頭取：佐藤 安紀）が出資し設立した「きたぎん六次産業化支援ファンド」は、株式会社岩手ファーマーズミート（代表取締役：小形 守）に対して出資を行うことを決定いたしました。

本件は今年1月5日に、初めて岩手県に本拠地を置いて設立された六次産業化ファンドである「きたぎん六次産業化支援ファンド」の第1号案件となります。また、平成25年1月設立の株式会社農林漁業成長産業化支援機構が共同出資を行った全国のファンド出資案件のうち、ファンド設立から**全国で最も早く**出資決定となった案件となります。

当行では引き続き、六次産業化による地域経済活性化および地域の雇用創出に向けて積極的に取り組んでまいります。

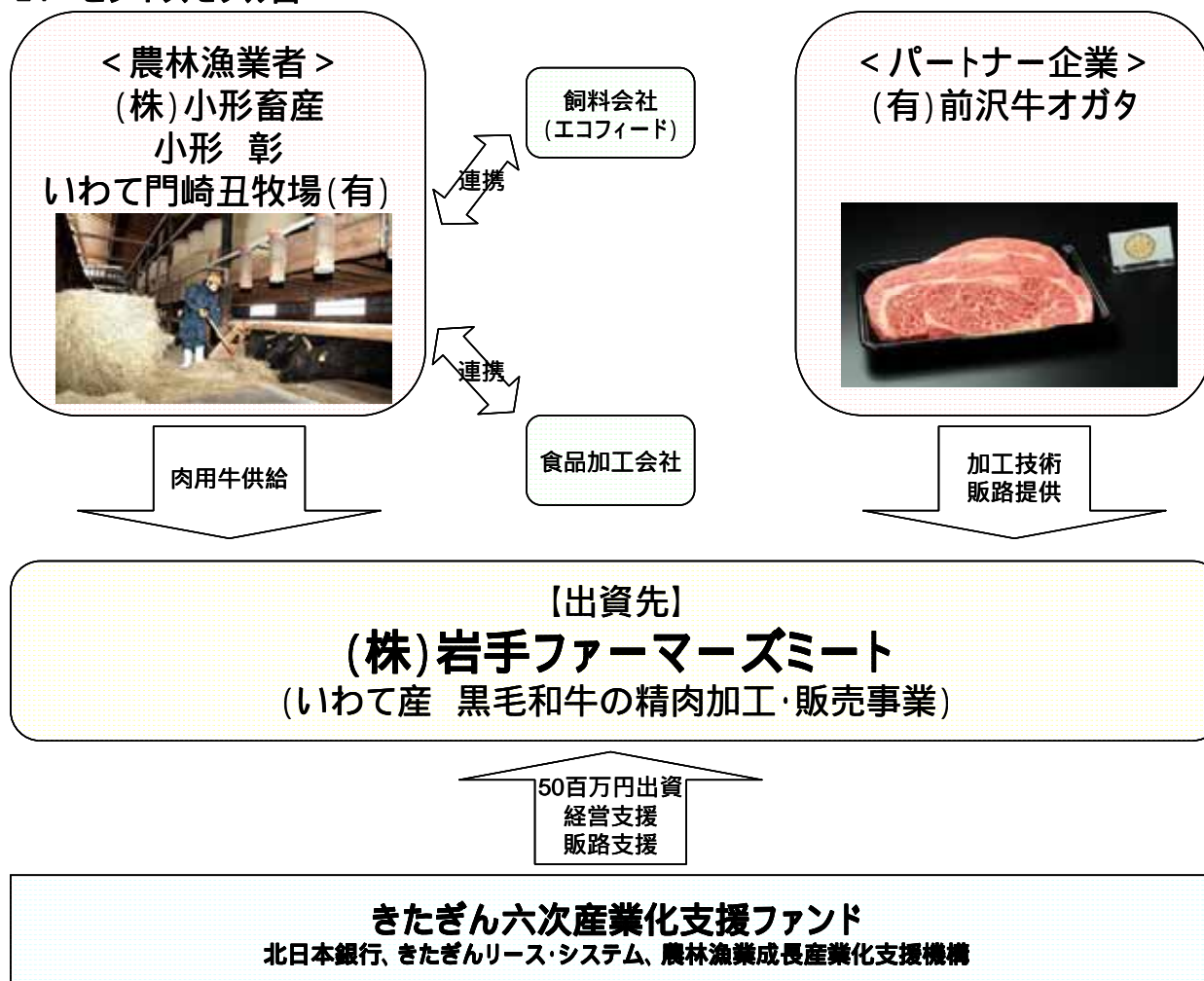
記

1. 出資先概要

会社名	株式会社 岩手ファーマーズミート
代表者	代表取締役 小形 守
所在地	岩手県奥州市前沢区
設立年月	平成26年3月
出資決定額	50百万円
事業内容	(1) ブランド和牛を生産する岩手県の生産者が、“旨み”のある牛肉を作る岩手県産エコフィード（アルコール発酵飼料）を使い、地域循環型の畜産を構築・連携することで、肉用牛ブランドの底上げを図り、生産者の所得向上ならびに生産量の拡大に伴う地域活性化に貢献する。 (2) 高鮮度維持瞬間冷凍機（1）等の設備導入することにより、解凍時に流出するドリップ（旨み成分）量を抑制し、高鮮度維持した状態で通年安定供給を図ることで、消費者ニーズに合わせた新たな市場を開拓する。 (3) 厳格な衛生管理（2）に基づく精肉ラインで加工を行うことで、安全・安心の牛肉を生産し、パートナー企業である「（有）前沢牛オガタ」の販路活用・技術支援を受けて卸・小売事業者に供給する。

- (1) 冷解凍時における食材の細胞破壊を最小限に抑える技術であり、従来の急速冷凍に比べて、解凍時に細胞破壊により流出するドリップ量を約70%改善することが出来る。
- (2) 衛生管理により空気中の細菌混入を抑制し、かつ高鮮度維持瞬間冷凍を施すことで、冷凍保管期間や解凍後の賞味期限を延ばし、一般消費者にとって高品質維持とロス低減に大きなメリットがある。

2. ビジネスモデル図



以 上

【本件についてのご照会先】

株式会社北日本銀行 営業統括部
担当 小野寺・村田
電話 019-653-1111 (代表)

きたぎんリース・システム株式会社 ファンド事業部
担当 佐々木
電話 019-626-2510 (代表)